

地方研究会活動報告



品質工学シンポジウム2019 in おおさか

鐵見 太郎*

Taro Tetsumi

去る10月4日(金), CIVI研修センター新大阪東において題記シンポジウムを実施した。このシンポジウムは、従来から形としては一般参加もできる開かれたイベントとして実施してきたが、昨年までは参加者の9割が主催・共催の4研究会員で占められており、外部に向けての情報発信の役割を十分に果たせていなかった。そこで今回は名実ともに開かれたイベントとする方針のもと約1年をかけて準備を進め、当日は内外からの多数の方々の参加のもと成功裏に終えることができた。

1. 実施概要

日時：2019年10月4日(金) 10:00～17:00

場所：CIVI研修センター 新大阪東 E5Hall
(懇親会 17:30～19:30 @KOKO CAFE)

主催：関西品質工学研究会

共催：(公財)京都技術科学センター
中部品質工学研究会
滋賀県品質工学研究会
広島品質工学研究会

協賛：(一社)品質工学会
(有)アイテックインターナショナル
(株)ジェダイト
(株)ISIDエンジニアリング

後援：(株)日刊工業新聞社大阪支社
(一財)日本規格協会
(一財)日本科学技術連盟
(株)日本科学技術研修所

テーマ：AI/IoTと品質工学の連携で社会問題/技術課題を解く

参加者：114名(関西研究会40, 中部研究会9, 滋賀研究会8, 広島研究会1, 招待講演者4, 招待来場者6, 一般参加46)

プログラム：

- (1) 講演「単位空間を動的に生成することによる、機械設備・プラント異常診断の精度向上」
(株)IHI 茂木悠佑
- (2) 発表「IoTの取組みで分かって来た技術課題の難しさ」
(株)エクセディ 藪田大輔
- (3) 講演「若い世代と品質工学を共有した30年間ー日本大学非常勤講師を終えてー」
長谷川技術士事務所 長谷川良子
- (4) 基調講演「AIによる品質・AIの品質 ～ソフトウェア工学観点からの動向紹介～」
国立情報学研究所 准教授 石川冬樹
- (5) 講演「人工知能の時代とMTシステム ～技術者はAIに職を奪われるのか?～」
アングルトライ(株) 代表取締役 手島昌一
- (6) 発表「AI機械学習予測モデルのコンピュータ実験による量産プロセスの許容差設計」
ローム(株) 山中貴光
- (7) パネルディスカッション「AI/IoTと品質工学の連携で社会問題/技術問題を解く」
(パネリスト)
国立情報学研究所 准教授 石川冬樹
アングルトライ(株) 代表取締役 手島昌一
ブラザー工業(株) 加藤重己(関西品質工学研

*正会員, 三菱電機(株), 関西品質工学研究会会長